

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年10月25日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6954 URL http://www.fanuc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 稲葉 善治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 藤井 敬介 (TEL) 0555 (84) 5555
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|------------------|--------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 347,612 | 35.2 | 107,396 | 37.0 | 118,397 | 45.7 | 85,763 | 42.5 |
| 29年3月期第2四半期 | 257,108 | △ 26.5 | 78,400 | △ 38.4 | 81,254 | △ 40.6 | 60,174 | △ 34.5 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 99,666百万円(277.2%) 29年3月期第2四半期 26,422百万円(△67.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 442.41 | — |
| 29年3月期第2四半期 | 310.33 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-----------|-----------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 1,662,369 | 1,427,807 | 85.5 |
| 29年3月期 | 1,564,769 | 1,369,457 | 87.1 |

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 1,422,058百万円 29年3月期 1,363,155百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 186.20 | — | 208.98 | 395.18 |
| 30年3月期 | — | 265.45 | | | |
| 30年3月期(予想) | | | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 30年3月期の期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|---------|------|---------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 693,000 | 29.1 | 209,100 | 36.5 | 225,400 | 33.5 | 164,900 | 29.1 | 850.66 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 30年3月期2Q | 204,059,017株 | 29年3月期 | 204,072,715株 |
| 30年3月期2Q | 10,209,673株 | 29年3月期 | 10,216,648株 |
| 30年3月期2Q | 193,852,478株 | 29年3月期2Q | 193,904,637株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績予想および将来予想は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知お願います。なお、平成30年3月期の期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| 3. 注記事項に関する情報 | 9 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 9 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 9 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期における当社グループの業績は次のとおりです。

FA部門については、CNCシステムの主要顧客である工作機械業界は、国内、中国および韓国等において好調に推移しました。また、欧州なども堅調でした。レーザについては、国内、海外ともに低調に推移したものの、引き続きファイバレーザ発振器の拡販に努めました。FA部門全体の売上高は前年同期に比べ大幅に増加しました。

ロボット部門については、米州、欧州および中国が引き続き好調に推移し、なかでも中国向けの需要が活発でした。また国内においても堅調に推移しました。これらの結果、ロボット部門全体の売上高は前年同期に比べ大幅に増加しました。

ロボマシン部門については、ロボドリル（小型切削加工機）、ロボショット（電動射出成形機）、ロボカット（ワイヤカット放電加工機）のいずれも、自動車産業向けが堅調に推移したほか、IT関係向けも総じて堅調で、特に中国等における一時的需要も活発であったことから、売上高は前年同期に比べ大きく増加しました。

このようななか当社グループは、「one FANUC」、「壊れない」「壊れる前に知らせる」「壊れてもすぐ直せる」および「サービス・ファースト」をスローガンに掲げ、当社商品およびサービスについてお客様にご安心いただけるための取り組みをグループ一丸となって推進しました。またAI技術の当社商品への適用を進めると同時に、IoTへの対応として、様々な企業が参加できるオープンプラットフォームであるFIELD system(FANUC Intelligent Edge Link and Drive system)の日本国内における運用を10月2日から開始するなど、事業の継続的発展のための取り組みを推し進めました。

当第2四半期における連結業績は、売上高が3,476億12百万円（前年同期比35.2%増）、経常利益が1,183億97百万円（前年同期比45.7%増）、四半期純利益が857億63百万円（前年同期比42.5%増）となりました。

なお、部門別の売上高につきましては、FA部門が1,053億51百万円（前年同期比25.6%増）、ロボット部門が1,097億15百万円（前年同期比24.4%増）、ロボマシン部門が900億54百万円（前年同期比89.9%増）、サービス部門が424億92百万円（前年同期比13.0%増）でした。

※ [当四半期決算に関する定性的情報]における「四半期純利益」は、損益計算書における「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指します。(当期純利益もこれに準じます。)

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前年度末比976億円増の1兆6,623億69百万円となりました。主な増加は現金及び預金が433億63百万円となっております。

また、負債合計は、前年度末比392億50百万円増の2,345億62百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比583億50百万円増の1兆4,278億7百万円となりま

した。

なお当社は、当社の株主還元方針（平成27年4月27日公表）に基づき、発行済株式総数の5%を超える自己株式（13,698株、98百万円）を平成29年5月31日付で消却いたしました。（本消却に伴う純資産合計額への影響はありません。）

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年度末比433億63百万円増の8,181億24百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比414億82百万円増の1,121億42百万円であり、これは主に税金等調整前四半期純利益が増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比185億11百万円減の304億39百万円であり、これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同期比126億97百万円減の413億59百万円であり、これは主に自己株式の取得による支出が減少したことによるものです。

（3）連結業績予想に関する説明

業績が全般的に好調で、下期においても引き続き好調に推移するものと見込まれます。

一方で、為替動向や地政学リスク等の懸念から、予断を許さない状況が続くものと思われれます。

現時点での平成29年度（平成30年3月期）の連結業績予想は以下のとおりです。

通期

（金額：百万円）

| | 前回発表予想 （平成29年7月 28日発表） | 今回発表予想 | 増減率 |
|-------|------------------------------|---------|-------|
| 売上高 | 611,400 | 693,000 | 13.3% |
| 営業利益 | 169,800 | 209,100 | 23.1% |
| 経常利益 | 179,200 | 225,400 | 25.8% |
| 当期純利益 | 131,500 | 164,900 | 25.4% |

注）平成29年10月から平成30年3月までの期間における為替レートは、平均105円/ドル、125円/ユーロを想定しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 629,761 | 673,124 |
| 受取手形及び売掛金 | 120,787 | 126,345 |
| 有価証券 | 145,000 | 145,000 |
| 商品及び製品 | 60,580 | 70,283 |
| 仕掛品 | 43,892 | 52,669 |
| 原材料及び貯蔵品 | 13,864 | 18,475 |
| その他 | 47,047 | 43,769 |
| 貸倒引当金 | △1,287 | △1,476 |
| 流動資産合計 | 1,059,644 | 1,128,189 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 195,765 | 207,212 |
| 土地 | 134,400 | 135,194 |
| その他（純額） | 76,225 | 86,888 |
| 有形固定資産合計 | 406,390 | 429,294 |
| 無形固定資産 | 4,687 | 6,128 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 72,195 | 78,839 |
| その他 | 21,855 | 19,921 |
| 貸倒引当金 | △2 | △2 |
| 投資その他の資産合計 | 94,048 | 98,758 |
| 固定資産合計 | 505,125 | 534,180 |
| 資産合計 | 1,564,769 | 1,662,369 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 36,011 | 49,336 |
| 未払法人税等 | 22,994 | 35,148 |
| アフターサービス引当金 | 6,994 | 7,143 |
| その他 | 54,716 | 72,609 |
| 流動負債合計 | 120,715 | 164,236 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 71,175 | 66,831 |
| その他 | 3,422 | 3,495 |
| 固定負債合計 | 74,597 | 70,326 |
| 負債合計 | 195,312 | 234,562 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 69,014 | 69,014 |
| 資本剰余金 | 96,208 | 96,265 |
| 利益剰余金 | 1,307,254 | 1,352,408 |
| 自己株式 | △90,677 | △90,729 |
| 株主資本合計 | 1,381,799 | 1,426,958 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,594 | 12,104 |
| 為替換算調整勘定 | △710 | 5,695 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △26,528 | △22,699 |
| その他の包括利益累計額合計 | △18,644 | △4,900 |
| 非支配株主持分 | 6,302 | 5,749 |
| 純資産合計 | 1,369,457 | 1,427,807 |
| 負債純資産合計 | 1,564,769 | 1,662,369 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 257,108 | 347,612 |
| 売上原価 | 140,812 | 193,474 |
| 売上総利益 | 116,296 | 154,138 |
| 販売費及び一般管理費 | 37,896 | 46,742 |
| 営業利益 | 78,400 | 107,396 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,121 | 1,533 |
| 受取配当金 | 846 | 1,019 |
| 持分法による投資利益 | 5,254 | 7,305 |
| 雑収入 | 973 | 2,760 |
| 営業外収益合計 | 8,194 | 12,617 |
| 営業外費用 | | |
| 固定資産除売却損 | 59 | 348 |
| 為替差損 | 4,449 | — |
| 不動産取得税 | 11 | 805 |
| 雑支出 | 821 | 463 |
| 営業外費用合計 | 5,340 | 1,616 |
| 経常利益 | 81,254 | 118,397 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 81,254 | 118,397 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 23,739 | 36,554 |
| 法人税等調整額 | △2,829 | △4,162 |
| 法人税等合計 | 20,910 | 32,392 |
| 四半期純利益 | 60,344 | 86,005 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 170 | 242 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 60,174 | 85,763 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 60,344 | 86,005 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,357 | 3,510 |
| 為替換算調整勘定 | △28,476 | 6,896 |
| 退職給付に係る調整額 | 1,212 | 3,829 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △8,015 | △574 |
| その他の包括利益合計 | △33,922 | 13,661 |
| 四半期包括利益 | 26,422 | 99,666 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 26,658 | 99,506 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △236 | 160 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 81,254 | 118,397 |
| 減価償却費 | 10,695 | 15,909 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △110 | 124 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △60 | △4,744 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,967 | △2,552 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △5,254 | △7,305 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 6,041 | △4,662 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △8,203 | △19,713 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 3,894 | 12,614 |
| その他 | △312 | 21,259 |
| 小計 | 85,978 | 129,327 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6,747 | 7,600 |
| 法人税等の支払額 | △22,030 | △24,818 |
| その他 | △35 | 33 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 70,660 | 112,142 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △48,453 | △27,759 |
| その他 | △497 | △2,680 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △48,950 | △30,439 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △13,303 | △151 |
| 配当金の支払額 | △40,510 | △40,554 |
| その他 | △243 | △654 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △54,056 | △41,359 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △19,188 | 3,019 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △51,534 | 43,363 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 831,662 | 774,761 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 780,128 | 818,124 |

3. 注記事項に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

- (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。